

○ 第35回港湾労働専門委員会（平成30年12月26日開催）からの主な変更点について

- ①. 1 計画の基本的考え方 (2) 計画の背景と課題 イ 港湾労働者の雇用の改善並びに能力の開発及び向上の現状
【該当ページP1】 → 「改善が進みつつある」を「一部の事項について改善している」に修正
- ②. 1 計画の基本的考え方 (2) 計画の背景と課題 イ 港湾労働者の雇用の改善並びに能力の開発及び向上の現状
【該当ページP1】 → 「他の産業に比してなお改善の余地のある状況」を「荷待ちのために待機時間が発生しやすいこと等の港湾運送事業の特性もあり、全体としては、他の産業に比してなお改善の余地のある状況」に修正
※(2)イの月間実労働時間について「待機時間も含む」としている部分は、前述に含まれるため削除。
- ③. 1 計画の基本的考え方 (2) 計画の背景と課題 ロ 今後の港湾労働対策の課題 (イ)
【該当ページP2】 → 「改善が進みつつあるものの、なお改善すべき状況にあるが」を「更に改善すべき状況にあるが」に修正
- ④. 1 計画の基本的考え方 (2) 計画の背景と課題 ロ 今後の港湾労働対策の課題 (イ) a 規制改革の影響
【該当ページP2】 → 標題「規制改革の影響」を「規制改革の影響を踏まえた取組の継続」に修正
「施策を引き続き講ずる」を「施策に取り組んできたところであるが、これらの取組を引き続き講ずる」に修正
- ⑤. 1 計画の基本的考え方 (2) 計画の背景と課題 ロ 今後の港湾労働対策の課題 (ハ)
【該当ページP3】 → 「様々な課題が散見されるところである」を「様々な課題への対応が求められている」に修正
- ⑥. 1 計画の基本的考え方 (3) 計画の期間
【該当ページP3】 → 「平成31年度から5年間」を「平成31年度から平成35年度まで」に修正
- ⑦. 2 港湾労働者の雇用の動向に関する事項 (2) 港湾労働者の雇用の動向 ニ 港湾労働者の年齢構成
【該当ページP4】 → 「平成25年における同割合は20.4%であったことから、港湾労働者の高齢化の進展が見られる」を「平成25年における港湾労働者の同割合は20.4%、全産業の労働者の同割合は27.4%であったことから、港湾労働者の高齢化は他産業と比べ急速に進展している」に修正
- ⑧. 3 労働力の需給の調整の目標に関する事項 (2) 労働力の需給の調整に関して講ずべき措置 イ 国及び都府県が講ずる措置 (二) 直接雇用の日雇労働者問題への対応
【該当ページP6】 → 「2%台後半で推移しており、直接雇用の日雇労働者が減少している状況にはないところ」を「横ばいとなっており、これまで当該割合が減少するよう努めてきたところではあるが減少に結びついていない状況にある」に修正

○ その他、文言の適正化や誤字の訂正